



東陽の旋風^{かぜ} ～自律貢献～

令和5年6月23日（金）No 11発行
文責：松本 卓也

起こせ！ 東陽の旋風！！

～負けることを恐れない！
試合を楽しむ！！～

八代中体連が明日開催されます。3年生にとって最大の目標である中体連。参加する選手全員が勝利を目指し努力を続けてきました。しかし、ほとんどの選手は、日本一にならない限り、郡市や県、九州、全国の中体連のどこかで「負ける」ことを経験します。一生懸命打ち込んできた選手ほど、悔しさが込み上げてきます。リアル・ソシエダ所属でサッカー日本代表の久保建英選手は、2年前の東京オリンピック3位決定戦でメキシコを相手に1-3で敗れた瞬間、ピッチに突っ伏して号泣し、なかなか立ち上がることができませんでした。インタビューでは、「いままでサッカーをやってきてこんな悔しいことはない！」と述べています。また、「この気持ちを忘れないようにできれば」とも述べています。大事なことは、“次に生かす！”と前を向けるかどうかです。



【バドミントン部決意表明】

団体戦の目標は2回戦突破です。一致団結、やる気を出して目標達成できるよう頑張ります。2日目は、全校応援なのでみなさんの応援に応えられるよう頑張ります。

【男子バレーボール部決意表明】

目標は優勝することです。入部したとき、一人だけで不安もありましたが、今では頼もしい仲間がいます。相手は優勝候補ですが、声出しと一つ一つのプレイを大事にし、練習の成果を発揮できるように頑張ります。

入部と書いて、「スタート」と読む。
部員と書いて、「仲間」と読む。
練習と書いて、「前進」と読む。
試合と書いて、「挑戦」と読む。
負けと書いて、「バネ」と読む。
青春と書いて、「部活動」と読む。
中体連と書いて、「感謝」と読む。

ある中学生の詩

久保選手は、先日開催された「キリンチャレンジカップ2023」のエルサルバドル戦で、1ゴール2アシストの活躍でファン投票 MOM に選出されました。悔しさを忘れず、努力をしつづけた結果です。選手推戴式の生徒激励の言葉でも、「努力は必ず報われるという言葉があります。今まで続けてきた思いをぶつけるように、そして笑顔でプレイしてください。私たちも一生懸命応援します。」と仲間の背中を後押しする温かい言葉がありました。明日、明後日は、負けることを恐れず、全力で相手に挑み、試合を楽しんでください！ “起こせ 東陽の旋風！！”



教師修養第一弾！ ～2年社会科～

16日（金）、熊本大学教育学部附属中学校からT教諭をお招きして、2年生の社会科で研究授業を行いました。本時のめあては、「綱吉の政治は、社会によい影響を与えたと言えるのか？」。学習方法としてジクソー法を取り入れ、徳川綱吉の政治や文化の特色を理解することが目標です。子どもたちは、調べた特色を根拠に、自信をもって自分の考えを主張していました。T教諭も、学ぶ意欲がとても高いことに感心されていました。



土砂災害から自分の身を守る

19日（月）、水害を想定した避難訓練と国土交通省出前講座を行いました。出前講座では、砂防ダムのおしくみ等をモデルを使って説明していただきました。中学生には、自分の身を守る（自助）ことはもちろんのこと、最新の情報を確認して小さい子やお年寄りの方を守る（共助）役割も求められます。「いかに早く避難するか？」昨年、作成したマイタイムラインを活用し、災害時の行動について、ぜひ一度ご家庭で話し合ってください。



※ご意見や感想をお待ちしています。「見ました」の一言でも構いません。

保護者名（ ）